

高山市の監査



監査制度のあらまし

令和4年度の監査結果



令和5年5月
高山市監査委員事務局

目 次

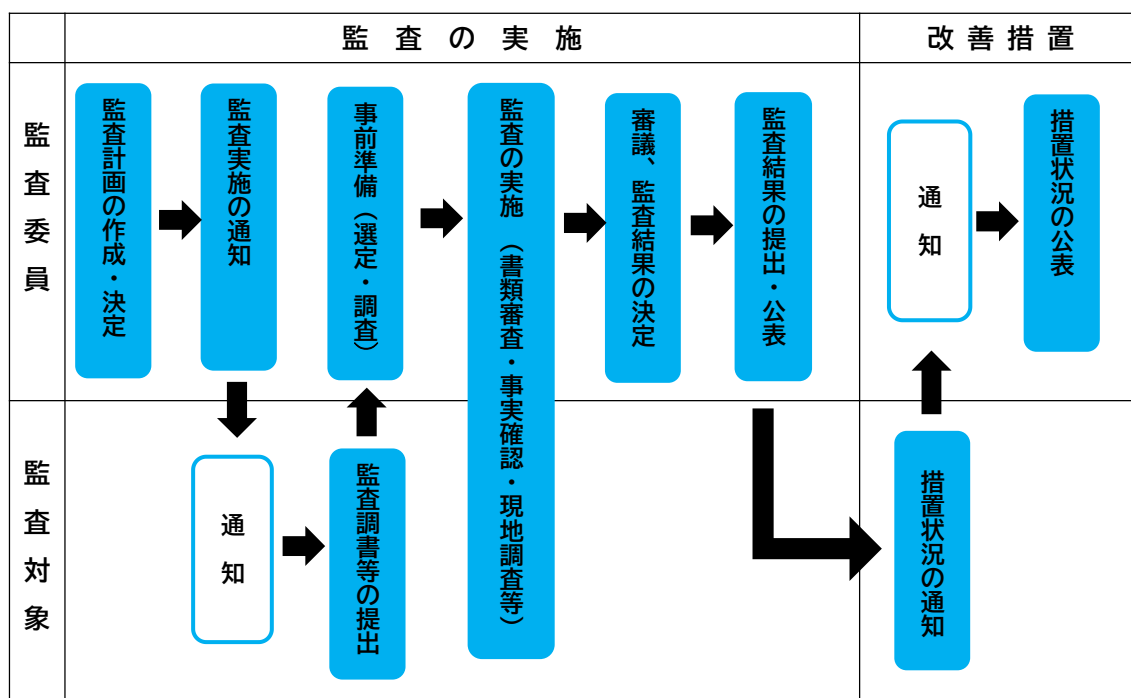
I 監査制度のあらまし

1. 監査とは	1
2. 監査委員の役割	1
3. 監査の流れ	2
4. 監査の種類	2
【監査等一覧表】	3
5. 監査基準	4
6. 監査の視点	4

II 令和4年度の監査結果

1. 定期監査	6
2. 随時監査(工事監査)	7
3. 財政援助団体等監査(指定管理、補助金等)	8
4. 決算審査	10
【一般会計の財務諸表】	12
5. 例月出納検査	13
6. 住民監査請求に基づく監査	13

3. 監査の流れ



4. 監査の種類

一般的に広い意味で「監査」という言葉が使われていますが、目的等によって、次のとおり「監査」「検査」「審査」に分かれています。

- ・ 監査 執行状況の真実性や妥当性の検証に重点を置き、指導・助言を行う。
☞ 定期監査、随時監査、財政援助団体等監査
- ・ 検査 計数の正否を調べることに重点を置き、現状を確認する。
☞ 例月出納検査
- ・ 審査 計数の正否を確認することに重点を置き、一定の判断を下す。
☞ 決算審査

実務の上では、いずれも「監査」の概念の中で行われており、このあらましにおいては、特別な場合を除き一括して「監査」、あるいは高山市監査基準に準じて「監査等」と表記します。

【監査等一覧表】

高山市では、年間を通じて次の監査等を実施しています。

名 称	内 容	実施時期
定期監査	年2回期日を決めて、市の財務に関する事務の執行及び経営にかかる事業が合理的かつ効率的に行われているか監査します。	5月頃 2月頃
随時監査 (工事監査)	監査委員が必要と認める場合に、定期監査に準じて実施します。 高山市においては、毎年、工事監査を実施しており、市が実施する工事について技術士に調査委託し、専門的な見地から監査します。	10月頃 11月頃
財政援助団体 等監査	指定管理者が公の施設を適正に管理・運営しているか監査します。 また、市が補助金を交付している団体に対して、補助金が適正に使われているか監査します。	11月頃 1月頃
例月出納検査	市が保管する現金の残高及び出納事務が適正に行われているか検査します。	毎月25日 頃
決算審査	一般会計・特別会計及び公営企業会計等の決算内容が正しいか、予算が適正かつ効率的に使われているか審査します。 そのほか、基金の運用状況や財政健全化法による指標についても審査します。	6月～8月 頃
住民監査請求 に基づく監査	市民から、公金支出、財産管理、契約締結等の財務会計について監査請求があった場合に監査します。 ◎住民監査請求とは、市民が、市長などの執行機関や職員による財務会計の行為が違法又は不当であると認めるとき、このことを証明する書面を添えて監査を求め、必要な措置を講ずるよう請求するものです。	随時

5. 監査基準

監査基準とは、法令の規定により行う監査等の適切かつ有効な実施を図るための基本事項を定めたものです。

高山市では、平成15年に策定した監査基準に基づき監査を実施してきました。しかし、基準を策定していない自治体があったり、全国的に統一したルールがなかったりしたことから、監査結果の信頼性をより高めるため地方自治法が改正され、新たな基準の策定及び公表がすべての自治体に義務付けられました（地方自治法第198条の4）。

令和2年4月1日施行の新しい「高山市監査基準」は、市の公式ホームページに掲載しています。 URL <https://www.city.takayama.lg.jp/>

6. 監査の視点

監査は主に次の5つの視点で行われます。

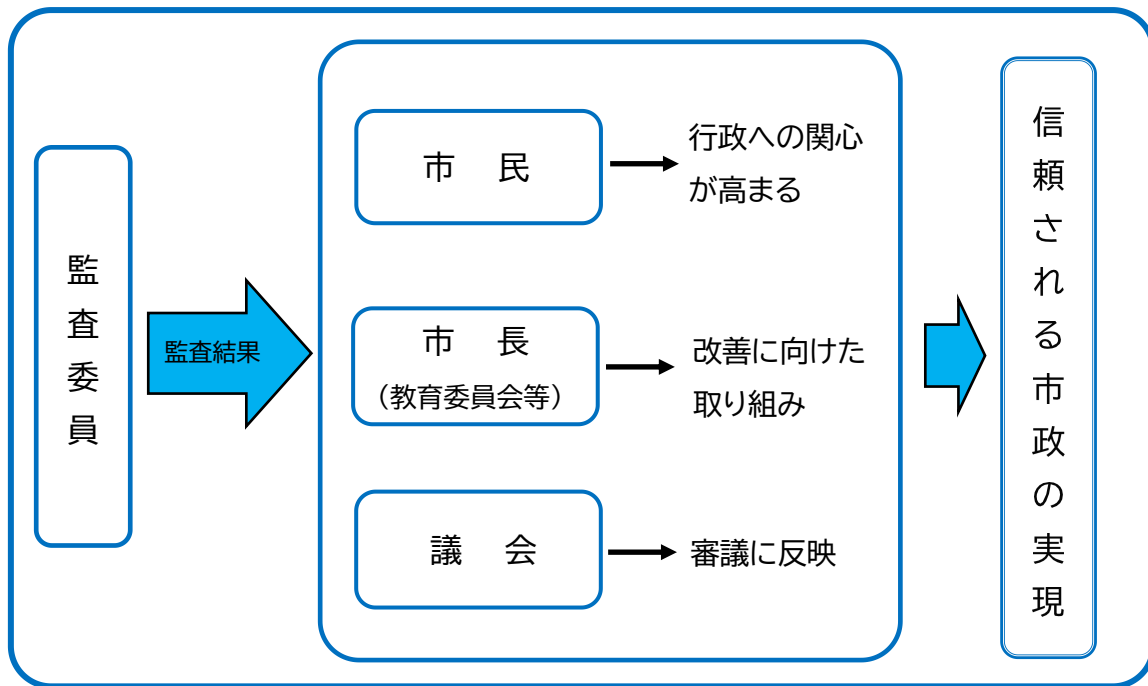
- | | |
|-------|-----------------------------|
| ・ 合規性 | 法令や条例等に従って適正に行われているか |
| ・ 正確性 | 事務が正確に執行され、数字や金額、文言等が正しいか |
| ・ 経済性 | 無駄な経費をかけていないか |
| ・ 効率性 | 業務の簡略化や改善により、さらに能率的に処理できないか |
| ・ 有効性 | 事業結果が所期の目的を達成し、効果を挙げているか |

また、一般的に監査を行う上では、次の三つの観点が求められると言われています。 ☞引用：吉野貴雄著「監査委員事務局のシゴト」（ぎょうせい）

- ・ 正確性を期すため、細部まで調べる「虫の目」
- ・ 全体の状況を的確に把握するため、高い見地から俯瞰する「鳥の目」
- ・ 危機的状況を回避するため、時代の潮流を読み解く「魚（さかな）の目」

監査は、『市の業務が正しく適切に行われていることを保証するための仕組み』と言い換えることができます。

したがって、「対症療法」ではなく「根本療法」を目指す必要があります。重大な事故や事件が発生しないようにするため、その前段階で不適切な事例が起きない仕組みづくりにつながる指摘が、結果的に信頼される市政の実現に結び付くと考えています。



監査結果（決算審査
意見書）の提出

書類監査
（監査委員室）



■主な指摘事項（補助金等）

- 申請年度内に市内で実施する事業経費に対して補助金を交付するよう要綱に定められているが、事業実施の前年度に受付されていた。また、補助金の対象となる経費も、要綱に定められていない経費に対しても補助する旨の周知がされていた。実務と要綱の整合を図り、事業の見直しに努めてください。
- 補助事業の経費として、源泉徴収の対象となる出演者への謝礼金等の支出が多数あるが、実績報告書に添付された領収書からは源泉徴収に関する事務処理が確認できなかった。所得税法第204条及び復興措置法第28条において、報酬等の支払をする者は所得税と復興特別所得税を併せて徴収し、国に納付しなければならないと規定していることから、法令等に従った事業実施において努めてください。

《財政援助団体等監査の様子》

書類監査
(桜の郷荘川)



施設現地監査
(市政記念館)

■主な指摘事項（公営企業会計 ～水道事業～ ）

○当年度末における水道料金の過年度分の未収金は、前年度と比較し 683 万円増の 9,515 万円であった。当年度中に収納の無かった平成 14 年度以前の未収金（実件数 31 件 376 万円）について徴収に係る履歴（接触状況等）を調査した結果、経過記録書の記載があったのは 3 件のみで残る 28 件は手付かずの状況であった。また、死亡 6 件、転出 7 件、居所不明 2 件を確認しているにもかかわらず相続人調査等の追跡調査も実施されていなかった。令和 4 年度から債権管理条例が施行されたが、安易に債権放棄することがないように、債権管理に関する適切な事務執行に努めてください。

■主な指摘事項（公営企業会計 ～下水道事業～ ）

○当年度も、営業費用が営業収益を大きく上回り、営業損失 15 億 3,327 万円の計上となった。最終的な当年度純利益は 0 円となっているが、これは赤字補填分として下水道事業補助金 3 億 79 万円が一般会計から繰り入れられた結果である。今後、「高山市下水道ビジョン・経営戦略」に定める財政計画を着実に実行するとともに、使用料の改定を含めた財源の確保に努めてください。

<<<< 用語解説 >>>>

※健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」においては、地方公共団体（市）の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものとして、以下の 4 つの指標を「健全化判断比率」と定めています。

- ① 実質赤字比率・・・一般会計等の赤字の大きさを表した割合
- ② 連結実質赤字比率・・・公営企業等を含めた全会計の赤字の大きさを表した割合
- ③ 実質公債費比率・・・市の借入金（地方債）の返済額の大きさを表した割合
- ④ 将来負担比率・・・地方債など現在抱えている負債の大きさを表した割合

高山市においては、全般的に良好な財政状態が維持されているため、いずれの指標についても、算定されないか、もしくは基準数値内に収まっています。

※資金不足比率

資金不足比率は、公営企業会計ごとの事業規模に対する資金の不足額の比率のことです。高山市においては、すべての公営企業会計について資金の不足額がないため、算定されませんでした。

【一般会計の財務諸表】

高山市では、市の財政状況を客観的に把握し、効率的な財政運営などに役立つため、貸借対照表などの財務諸表を作成し公表しています。

令和3年度 貸借対照表（バランスシート）

<p>資産の部 2,295億4,184万円</p> <p>《行政サービスを提供するために保有している財産》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●固定資産 2,066億9,505万円 <ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産 1,683億8,633万円 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 学校や道路などの建設に使われたお金 ・無形固定資産 4億8,925万円 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 地上権や借地権など形のない資産 ・その他の資産 378億1,947万円 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 関係団体への出資金や各種基金など ●流動資産 228億4,680万円 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 現金や財政調整基金などすぐに現金化できる基金、市税等の未収金など 	<p>負債の部 292億3,447万円</p> <p>《学校や道路等の建設のための借金など将来の世代が負担するお金》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●固定負債 245億4,617万円 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 負債のうち、令和3年度以降に支払う費用 ●流動負債 46億8,831万円 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 負債のうち、翌年度（R3）に支払う費用
	<p>純資産の部 2,003億737万円</p> <p>《これまでの世代が負担したお金》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●純資産 2,003億737万円 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 学校や道路等を建設するために使われた国や県からの補助金や税金



市民一人あたりにおきかえると・・・

<ul style="list-style-type: none"> ○土地・建物など 199万4千円 ○出資金など 44万7千円 ○現金など 27万0千円 計 271万1千円 	<ul style="list-style-type: none"> ○借入金など 34万5千円 ○純資産 236万6千円 計 271万1千円
--	--

◎財務諸表は、総務省が示している基準により作成しています。

◎行政コスト計算書や資金収支計算書などは、市の公式ホームページに掲載しています。 URL <https://www.city.takayama.lg.jp/>



高山市の監査

監査制度のあらまし / 令和4年度の監査結果

令和5年5月発行

発行 高山市監査委員事務局
〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2-18
TEL 0577-35-3158
Mail kansa@city.takayama.lg.jp

この冊子は、監査のしくみや結果について、市民の皆さんに分かりやすくお伝えするために作成しました。